

Investor's Report

2017年
3月期

2016年4月1日 ~ 2017年3月31日

証券コード: 7224

● トップインタビュー

2017年4月に五十川龍之が社長に就任

社長としての基本方針を聞かせてください。

私たちの使命は、製品・サービスを通じて社会に貢献することです。この使命を果たすためにも、市場で求められる製品・サービスを創出し続けなければなりません。そして、こうした事業活動により得られる収益を、株主の皆さまなどに還元するとともに、新たな価値の創出に向けた投資などを実行し、企業価値を高めていかなければならないと考えています。

では、「市場で求められる製品・サービスを創出し続ける」ために必要な能力が何かを考えたときに、まずは「高い変革能力」の必要性を感じています。ニーズは、常に変化しており、その速度や幅は、今後ますます速く、大きくなっていくものと想定されます。この変化を的確に掴んで、競合他社より一歩でも早く「製品」や「サービス」という形で提供できるよう、意識醸成や体制整備に取り組めます。

また、働く人が、やりがいをより感じられる企業グループを目指します。ITの普及や人工知能の発達なども著しいものがありますが、それらを「人」が活用していくことに変わりはありません。働く人たちが常に「達成感」や「幸せ」を感じられるようにすることで、新明和グループの「活力」をさらに高めていきたいと考えています。

新明和グループの“強み”をどのようにみていますか。

「航空機」「特装車」「産機・環境システム」「パーキングシステム」を中心とした事業基盤は強みです。「製品」だけではなく、「アフターサービス」まで提供できる体制をそれぞれの事業で確立できています。お客さまに長く製品を使い続けていただくことができる体制は、将来の成長に向けた「挑戦」の基盤でもあります。

特に注力する課題はありますか。

まずは、基盤製品やサービスの競争力強化です。お客さま満足度をより高める製品・サービスを創出し、受注優位性をさらに向上させなければなりません。そのためにも、開発速度を上げ、求められる製品・サービスを適時提供できる体制を整備しなければならないと感じています。製品はもとより、サービスに関しても価値を感じていただけるメニューを創出できるよう努めてまいります。

また、海外展開についても強化すべきポイントだと考えています。既に海外への展開を進めている製品もありますが、国を問わず通用するものがまだまだ数多く

あるとみています。ターゲットとする国や地域において、お客さまが求める「機能」や「価格」をよく把握し、製品やサービスの仕様を決定し、販路開拓により、海外展開を推進したいと考えています。

そして、今申し上げた施策に取り組むためにも、「マーケティング力」の強化が不可欠だと感じています。成長戦略を描くうえでの新事業の創出のためにもマーケティング力を発揮できるよう、体制強化などを進めてまいります。

最後になりましたが、 2018年3月期の業績予想について、 聞かせてください。

市場環境は比較的良好に推移するものとみていますが、航空機事業において、ボーイング社の「777」の納入機数が減ること、2017年3月期の需要水準が極めて高かった特装車の需要がやや落ち着くものと予想しております。また、売上高は若干減少するものと予想しております。また、特装車事業において、売上高減少に加え、鋼材価格の値上がりを想定しているほか、人員の増強や設計・生産の効率性を高める取り組みを進めることによりコストが増加し、全体として減益を見込んでいます。

2018年3月期は、現在進めている3力年の中期経営

方針「New Challenge 100」の活動最終年度に当たります。目標に掲げる「売上高2,000億円以上、営業利益100億円以上の継続計上」については、達成できるものとみています。ただ、これに満足することなく、各事業で進めている諸施策を最後まで推進していく所存です。たとえば、航空機事業においては、「777」の後継機となる「777X」向け翼胴フェアリングを製造するラインを本格稼働させる予定です。このほか、特装車の分野における塵芥車やダンプトラックの性能向上のほか、自動電線処理機、水処理機器、航空旅客搭乗橋の高付加価値化など、各事業分野でテーマを定めて進めている製品開発を推進してまいります。

また、来期以降の中期経営計画の策定も進めてまいります。今後検討を進めたうえで、詳細を公表する予定にしておりますが、将来にわたり、新明和グループが成長する上での中期的課題の解決に取り組むものとする所存です。

新明和グループの先頭に立って、皆さまのご期待に沿えるよう、全身全霊を傾けてまいります。引き続きのご支援、ご指導、ご鞭撻をいただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

取締役社長

五十川 龍之

PROFILE

いそがわ たつゆき
五十川 龍之

趣味

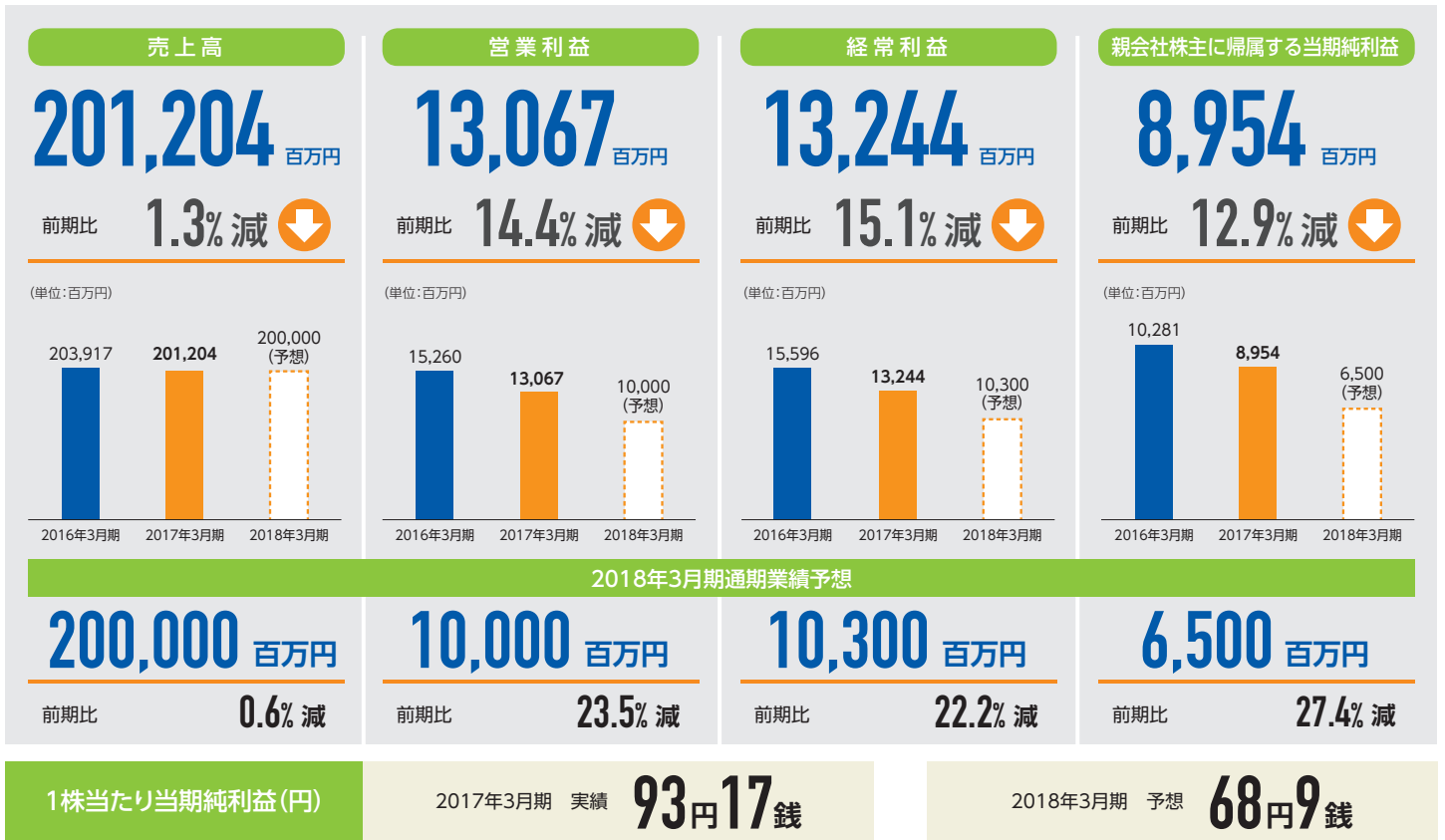
映画鑑賞、スポーツ観戦、ジョギング

座右の銘

堅忍質直(我慢強く、また飾り気なく正直であること)

1959年7月	大阪市 出身	2012年4月	当社 執行役員 パーキングシステム事業部 副事業部長 東京エンジニアリングシステムズ(株) 常務取締役
1983年3月	徳島大学 工学部 機械工学科 卒業	2014年4月	当社 パーキングシステム事業部長
1983年4月	当社 入社	2015年4月	当社 常務執行役員
2002年7月	当社 産機システム事業部 宝塚工場 パーキング部長	2015年6月	当社 取締役
2003年4月	新明和エンジニアリング(株) パーキング事業本部 設計部長	2016年4月	当社 専務執行役員
2005年4月	同社 パーキング事業本部 副本部長	2017年4月	当社 代表取締役 取締役社長 【現任】
2009年6月	当社 パーキングシステム事業部 パーキング本部 副本部長		
2010年7月	当社 パーキングシステム統括本部 副本部長		

2017年3月期 通期業績

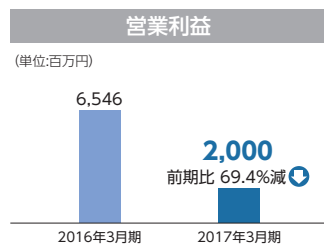
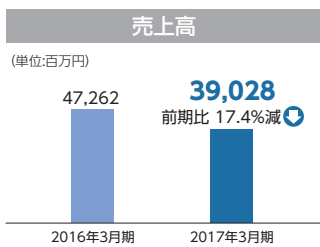


セグメント別業績



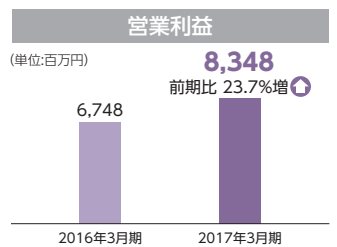
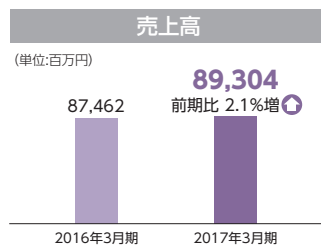
- US-2型救難飛行艇の製造作業を受注
- ボーイング社「777」向け翼胴フェアリングが後継機への移行を控え受注・売上ともに減少
- 為替が円高で推移したことにより売上高、営業利益ともに減少

2018年3月期の見通し
◎民間航空機向けは、ボーイング社「787」向け主翼スパーの納入機数の増加を想定するものの、「777」向けの納入機数減少などを見込む。



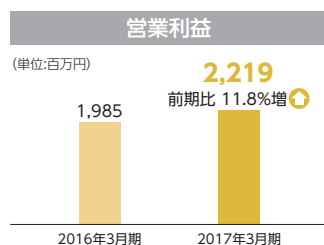
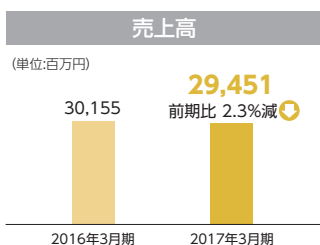
- 国内の需要水準が堅調に推移し、物流、環境関連車両の売上が増加
- 保守・修理事業は受注、売上ともに増加
- 林業用機械の需要は高水準を維持

2018年3月期の見通し
◎需要は高水準を維持するものの、生産効率向上などに向けた先行投資を予定。



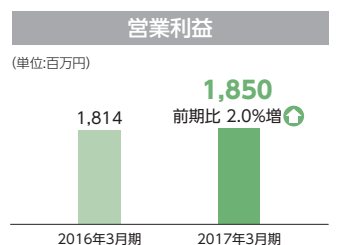
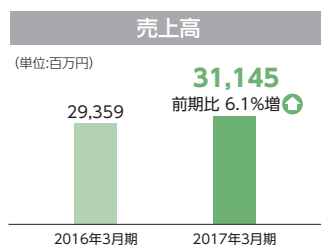
- 流体製品はポンプなどの機器及びシステムの需要が底堅く推移
- メカトロニクス製品は自動電線処理機が堅調に推移
- 環境関連事業は廃棄物処理施設の新設工事の減少などにより受注、売上ともに減少

2018年3月期の見通し
◎ポンプなどの機器及びシステムの受注、売上の増加を見込む。



- 機械式駐車設備は、都市部での堅調な需要が継続し、売上が増加
- 航空旅客搭乗橋は、受注は増加したものの、売上は減少

2018年3月期の見通し
◎機械式駐車設備の新設案件の売上増加を見込む。



会社概要 (2017年3月31日現在)

商号	新明和工業株式会社
設立年月日	1949年11月5日
資本金	15,981,967,991円
従業員数	2,948名
連結従業員数	4,711名

役員 (2017年6月27日現在)

役職名	氏名
代表取締役社長	五十川龍之
取締役	遠藤圭介
取締役専務執行役員	石丸寛二
取締役専務執行役員	田沼勝之
取締役専務執行役員	深井浩司
取締役専務執行役員	伊丹淳

役職名	氏名
取締役	山本巨苗 ^{※1}
取締役	平松一夫 ^{※1}
監査役(常勤)	水田雅雄
監査役(常勤)	金井田正一
監査役	下河邊由香 ^{※2}
監査役	八木春作 ^{※2}
監査役	刈田祥史 ^{※2}

役職名	氏名
常務執行役員	榎原敬士
常務執行役員	浅野隆弘
常務執行役員	西岡彰
常務執行役員	中野恭介
執行役員	富田政行
執行役員	小田浩一郎
執行役員	長尾嘉宏
執行役員	久米俊樹

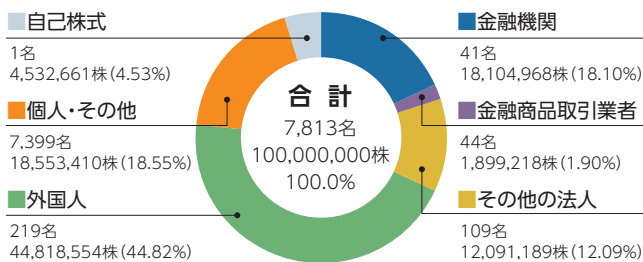
〔※1〕は社外取締役、〔※2〕は社外監査役を示しています。

株式情報 (2017年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	100,000,000株
単元株式数	1,000株
株主数	7,813名

株主構成



()内の数値は株式数の比率。四捨五入した数値を表示しております。

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
三信株式会社	9,293,065	9.73
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	4,597,000	4.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,242,000	3.40
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	3,218,000	3.37
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,610,000	2.73
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	2,464,224	2.58
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	2,421,000	2.54
新明和グループ従業員持株会	2,013,787	2.11
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	1,697,000	1.78
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,483,000	1.55

(注) 持株比率は、自己株式数(4,532,661株)を控除して計算するとともに、小数点第3位以下を四捨五入して表示しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.shinmaywa.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

各種手続きについて

▶証券会社等に口座をお持ちの方

口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。なお、以下のお手続き等につきましては、下欄の株主名簿管理人にお問い合わせください。

- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

▶特別口座に口座をお持ちの方

下欄の株主名簿管理人/特別口座管理機関にお問い合わせください。

株主名簿管理人/特別口座管理機関

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 (通話料無料)

単元株式数を変更!

2017年7月1日をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更します。これにより、
●売買単位が10分の1になり、最低購入価格が下がり、当社株式が購入しやすくなります。
●株主総会の議決権行使が、100株から可能になります。
なお、単元株式数の変更にともない、株主の皆さまに行っていただくお手続きはありません。

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 7224

いいかぶ

検索

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、2017年8月31日までです。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL 03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

新明和工業株式会社

<http://www.shinmaywa.co.jp/>

〒665-8550
兵庫県宝塚市新明和町1番1号
TEL 0798-56-5000 (代表)

